

教員免許状更新講習

- 1 趣 旨 教員が体験活動の意義について理解するとともに、児童生徒の集団宿泊学習等を効果的に実施するための基本的な体験活動の指導技術を身に付ける。また、学習指導要領における体験活動の取扱いを理解し、教育活動における体験活動の取入れ方を講義や実習を通して修得する。
- 2 期 日 令和元年7月29日（月）～31日（水）2泊3日
- 3 対象者 主に小・中学校の教員及び同免許保持者 ※全日程を受講できる者
- 4 募集定員 40人
- 5 参加者 39人
- 6 指導者 人財科学研究所代表 工藤 智徳 氏
鹿屋市教育委員会教育長 中野 健作 氏
鹿児島県立博物館学芸主事 鈴木 淳 氏
鹿児島大学准教授 福満 博隆 氏
国立大隅青少年自然の家職員



7 日 程

7月 29日 (月)	13:00 13:30		14:00		17:30 18:00 19:00			20:30 22:00	
	受 付	開 講 式 オリエンテーション	【実習・講義】 「体験活動を通じた 人間関係づくり」			休 憩	夕 食	【講義】 「今日的教育課題 とその対応」	入 浴
7月 30日 (火)	9:00		14:00 15:00		18:30 19:00			20:30 22:00	
	朝 食	【実習・講義】 「自然体験学習の方法Ⅰ」 (野外活動) ※途中、昼食有り	休 憩	【実習・講義】 「自然体験学習の方法Ⅱ」 (野外調理) ※夕食を含む。			休 憩	【実習・講義】 「星座観察と 指導方法」	入 浴
7月 31日 (水)	9:00		12:30 13:30		15:00 15:30				
	朝 食	【講義】 「体験活動の意義と学習指導要領」 「体験活動における安全管理」 ※途中、休息有り		昼 食・ 休 憩	【評価】 「履修認定試験」			閉 講 式	解 散

8 事業運営上の配慮

- 選択領域18時間分をまとめて受講できるように、日程を夏季休業中の2泊3日で設定した。
- 実習の時間を多く設定することで、指導法の実践と技能の習得に重点をおいた。
- 熱中症の対策として、適宜休憩と水分及び塩分補給を行った。



9 参加者の感想

- 実際に体験活動を行うことで、日頃の野外活動の指導方法を学ぶことができた。また、活動のねらいや目的を再認識することができ、とても有意義な講習だった。
- 大変有意義な講習だった。教員としての振り返りができたとともに、今後への意欲が湧いてきた。子供たちの命を守る重要性和、目的及び目標をしっかりと立てることの大切さを再認識した。



10 成 果

- 体験活動の意義やねらいを集中的に学べ、他校種の参加者の交流も深めることができたことは有意義であった。